

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和4年度 文化・教養専門課程（日本語学科1年課程）														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	日本語の運用基礎能力を習得する	1	前期	専門	○		総合日本語 I A	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。	330	22	○			
		1	後期	専門	○		総合日本語 I B	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	330	22	○			
	日本語学習サポート	1	前期	専門			○	初級作文 I A	総合日本語 I Aと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○		
		1	後期	専門			○	初級作文 I B	総合日本語 I Bと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○		
		1	前期	専門			○	漢字トレーニング I A	基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○		
	異文化適応に必要な日本語能力を習得する。	1	前期	専門			○	生活日本語 I A	日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	30	2	○		
		1	後期	専門			○	生活日本語 I B	日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	30	2	○		
	合計							7 科目	810 単位時間	(54 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：800時間履修 必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学期の授業期間	15 週

科目名	総合日本語 I A						学期	前 期	
担当教員	山崎真理子 鍛治田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	22
学習目的	初級レベルの日本語能力を身につける								
授業内容	日本語初級の会話、文法を学ぶ								
学習目標	初級の文法、表現を使って会話ができるようになる								
使用テキスト	みんなの日本語初級 I・II、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ひらがな、カタカナ、生活会話、みんなの日本語初級 I 第1課～4課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
2	みんなの日本語初級 I 第5課～7課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
3	みんなの日本語初級 I 第8課～10課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
4	みんなの日本語初級 I 第11課～13課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
5	みんなの日本語初級 I 第14課～15課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
6	みんなの日本語初級 I 第16課～17課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
7	みんなの日本語初級 I 第18課～20課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
8	みんなの日本語初級 I 第21課～22課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
9	みんなの日本語初級 I 第23課～24課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
10	みんなの日本語初級 I 第25課、みんなの日本語初級 II 第26課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
11	みんなの日本語初級 II 第27課～28課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
12	みんなの日本語初級 II 第29課～30課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
13	みんなの日本語初級 II 第31課～32課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
14	みんなの日本語初級 II 第33課～34課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
15	みんなの日本語初級 II 第35課～36課					【事前】	単語		
						【事後】	ドリル		
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %			提出状況、完成度、丁寧さ					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率、授業中の態度（参加度、積極性）、忘れ物の有無					
	3. テストその他 40 %			定期テストの結果					
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	総合日本語 I B						学期	後 期	
担当教員	山崎真理子 鍛冶田芳衣	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	22
学習目的	初級レベルの日本語能力を身につける								
授業内容	日本語初級の会話、文法を学ぶ								
学習目標	初級の文法、表現を使って会話ができるようになる								
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ、文型練習帳、初級で読めるトピック25、聴解タスク、はじめよう日本語初級Ⅰ・Ⅱ、ドリルと文法								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	みんなの日本語初級Ⅱ 第37課～38課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
2	みんなの日本語初級Ⅱ 第39課～40課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
3	みんなの日本語初級Ⅱ 第41課～42課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
4	みんなの日本語初級Ⅱ 第43課～44課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
5	みんなの日本語初級Ⅱ 第45課～46課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
6	みんなの日本語初級Ⅱ 第47課～48課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
7	みんなの日本語初級Ⅱ 第49課～50課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
8	はじめよう日本語初級Ⅰ 第7課～8課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
9	はじめよう日本語初級Ⅰ 第9課～10課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
10	はじめよう日本語初級Ⅰ 第11課～12課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
11	はじめよう日本語初級Ⅱ 第13課～14課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
12	はじめよう日本語初級Ⅱ 第15課～16課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
13	はじめよう日本語初級Ⅱ 第17課～18課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
14	はじめよう日本語初級Ⅱ 第19課～20課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
15	はじめよう日本語初級Ⅱ 第21課～22課	【事前】	単語			【事後】	ドリル		
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30%	提出状況、完成度、丁寧さ							
	2. 授業姿勢 30%	出席率、授業中の態度（参加度、積極性）、忘れ物の有無							
	3. テストその他 40%	定期テストの結果							
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	初級作文 I A						学期	前期	
担当教員	鍛治田芳衣 山崎真理子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	既習の語彙や文型を使用し身近なテーマについて、学習者が自らが、全体構成や記述内容を工夫した作文を書く技能を身に付ける。								
授業内容	構成をフローチャート、モデル文により理解し、学習者同士の話し合いを通して、イメージを明確にし意欲的にテーマに沿った作文を書く。								
学習目標	既習の語彙や文型を的確に使用し、テーマに即した構成や内容を工夫した400字程度の作文を書くことができる。								
使用テキスト	みんなの作文（総合日本語のテキスト「みんなの日本語」に準拠したテキスト）								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
16	作文を書くための基礎として、田仮名や片仮名の正確な表記（書き順や形）を理解する。					【事前】	平仮名、カタカナの予習プリント		
						【事後】	平仮名、片仮名プリントを反復練習		
16	ユニット1 自己紹介					【事前】	ユニット1 自己紹介のモデル文を読んでくる		
						【事後】	自己紹介文を書く		
16	ユニット2 私の部屋					【事前】	ユニット2 私の部屋のモデル文を読み、部屋の見取り図を完成させる。		
						【事後】	私の部屋の作文を書く		
16	「私の部屋」の発表					【事前】	私の部屋の発表の準備 発表練習		
						【事後】	作文・発表の自己評価		
16	ユニット3 私の国・町					【事前】	ユニット3 私の国・町のモデル文をよんで、母国の人口や面積を調べる。		
						【事後】	私の国・町の作文		
17	「私の国・町」の発表					【事前】	私の国・町の発表の準備 発表の練習		
						【事後】	作文・発表の自己評価		
17	ユニット4 私の家族					【事前】	ユニット4 私の家族のモデル文を読む。家族の写真などを見て、家族について調べる。		
						【事後】	私の家族の作文		
17	「私の家族」の発表					【事前】	私の家族の発表の準備 発表練習		
						【事後】	作文・発表の自己評価		
17	ユニット5 週末					【事前】	ユニット5 週末のモデル文を読む。		
						【事後】	週末の作文を書く。		
17	ユニット6 はがき					【事前】	ユニット5のモデル文を読む		
						【事後】	はがきを書く		
18	ユニット7 プレゼント					【事前】	ユニット7 プレゼントのモデル文を読む。		
						【事後】	プレゼントの作文を書く		
18	「プレゼント」の発表					【事前】	プレゼントの発表の準備、発表練習		
						【事後】	作文・発表の自己評価		
18	ユニット8 旅行					【事前】	ユニット8 旅行のモデル文を読む		
						【事後】	旅行の作文を書く		
18	テーマ作文					【事前】			
						【事後】	テーマ作文を書く		
18	テーマ作文の発表					【事前】	テーマ作文の発表準備 発表練習		
						【事後】	作文・発表の自己評価		
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題 50%		提出状況 完成度 ていねいさ						
	2. 授業姿勢 30%		出席率 授業中の態度（参加度・積極性）						
	3. テストその他 20%		発表の結果						
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験（7月、12月）								

科目名	初級作文IB					学期	後	期	期
担当教員	鍛治田芳衣 山崎真理子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	日本語でまとまりのある文、構成を意識した作文を書くスキルを身につける								
授業内容	モデル文を理解し、これを参考にしながら早い段階から、毎回一つのテーマについて作文を書く。								
学習目標	既習の語彙や文型を正しく使い、構成に注意して、あるテーマについて400字程度の作文が書けるようになること								
使用テキスト	やさしい作文								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
16	ユニット9 もし私が二人いたら				【事前】	ユニット9 もし私が二人いたら モデル文を読ん			
					【事後】	「もし私が二人いたら」 作文			
16	ユニット10 趣味				【事前】	ユニット10 趣味 モデル文を読ん			
					【事後】	「趣味」 作文			
16	ユニット11 楽しい1日				【事前】	ユニット11 楽しい1日 モデル文を読ん			
					【事後】	「楽しい1日」 作文			
16	ユニット12 日本でびっくりしたこと				【事前】	ユニット12 日本でびっくりしたこと モデル文を読ん			
					【事後】	「日本でびっくりした」 作文			
16	ユニット13 私の夢				【事前】	ユニット13 私の夢 モデル文を読ん			
					【事後】	「私の夢」 作文			
17	ユニット14 隣の人にひとこと				【事前】	ユニット14 隣の人にひとこと モデル文を読ん			
					【事後】	「隣の人にひとこと」 作文			
17	ユニット16 ごみ 国との比較				【事前】	ユニット16 ごみ 国との比較 モデル文を読ん			
					【事後】	「ごみ 国との比較」 作文			
17	ユニット17 交通 国との比較				【事前】	ユニット17 交通 国との比較 モデル文を読ん			
					【事後】	「交通 国との比較」 作文			
17	ユニット18 スマートフォン				【事前】	ユニット18 スマートフォン モデル文を読ん			
					【事後】	ユニット18 スマートフォン			
17	「国との比較 スマートフォン」の発表				【事前】				
					【事後】	年賀状を書く			
18	ユニット19 私の周りの最近のニュース				【事前】	ユニット19 私の周りの最近のニュース モデル文を読ん			
					【事後】	「私の周りの最近のニュース」 作文			
18	ユニット20 私の国の有名な人				【事前】	ユニット20 私の国の有名な人 モデル文を読ん			
					【事後】	「私の国の有名な人」 作文			
18	テーマ作文				【事前】				
					【事後】	テーマ作文の下書き			
18	原稿用紙の使い方				【事前】	「テーマ作文」を見直してくる			
					【事後】	原稿用紙に「テーマ作文」を書いてくる			
18	テーマ作文の発表				【事前】	「テーマ作文」の発表の練習			
					【事後】				
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出状況 完成度 ていねいさ						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業中の態度 (参加度 積極性)						
	3. テストその他	20 %	発表の結果						
課題・テスト (その他検定など) はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験 日本留学試験・記述								

科目名	漢字トレーニングⅠA							学期	前期	
担当教員	常勤教員	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	基礎漢字500字をマスター、日本語の理解を促進する。									
授業内容	プリント使用。練習問題を中心に毎回40の漢字を覚える。									
学習目標	基礎漢字500字の読み書きを覚える。									
使用テキスト	なし									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
2	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
3	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
4	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
5	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
6	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
7	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
8	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
9	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
10	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
11	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
12	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
13	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
14	確認テスト40個の漢字マスター	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直しとテスト準備			
		【事後】	テスト見直しとテスト準備			【事前】	テスト準備			
15	総復習期末テスト	【事前】	テスト準備			【事後】	テスト見直し			
		【事後】	テスト見直し			【事前】	テスト準備			
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 課題 40%	課題の提出状況								
	2. 授業姿勢 30%	出席率、授業中の態度								
	3. テストその他 30%	確認テスト、復習テスト								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	生活日本語 I A						学期	前	期
担当教員	折田 真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本の様々なルールやマナーを理解し、日本の社会や学校生活にうまく適応できるようになる。								
授業内容	日本での生活、学校生活に必須の日本語と情報を提供し、マナー指導を行う。また介護の業界、職業について解説する。								
学習目標	ルールやマナーを守り、諸活動に参加できる。また私生活やバイト先でも安定した人間関係を維持し、日本の社会に順応する。介護業界、職業を理解する。								
使用テキスト	なし(適宜プリントなど)								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	生活指導(アパート生活、ゴミ出しなど)	【事前】	留学生生活情報冊子を読んてくる。						
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる						
2	生活指導(金銭管理、アルバイト)	【事前】	留学生生活情報冊子を読んてくる。						
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる						
3	生活指導(交通、医療)	【事前】	留学生生活情報冊子を読んてくる。						
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる						
4	将来設計、目標設定	【事前】	留学生生活情報冊子を読んてくる。						
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる						
5	進学、受験について	【事前】	留学生生活情報冊子を読んてくる。						
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる						
6	業界理解	【事前】	日本の高齢社会について調べてくる						
		【事後】	わかったことをノートにまとめる						
7	職業理解	【事前】	介護の仕事について調べてくる						
		【事後】	わかったことをにまとめる						
8	職業理解(施設見学)	【事前】	リーフレットを読んてくる						
		【事後】	感想を書く、礼状を書く						
9	見学後の意見交換会、翌週と翌々週の準備(卒業生や現場職員への質問準備)	【事前】	見学後の感想を話せるようにまとめておく						
		【事後】	質問をまとめてくる						
10	進学指導(卒業生の話をきく)	【事前】	質問事項を準備してくる						
		【事後】	わかったことをノートにまとめる						
11	職業理解(現場職員の話をきく)	【事前】	質問事項を準備してくる						
		【事後】	わかったことをノートにまとめる						
12	職業理解(9~11週のまとめ)	【事前】	9から11週に学んだことをまとめておく						
		【事後】	グループごとに模造紙にまとめる						
13	職業理解(次週の交流会の準備)	【事前】	交流会の活動の準備をする						
		【事後】	交流会の活動準備						
14	職業理解(施設にて交流会)	【事前】	交流会の活動準備						
		【事後】	礼状を書く						
15	夏休みの過ごし方について	【事前】							
		【事後】	新しい単語をノートに練習してくる						
評価項目/割合		評価内容							
評価基準	1. 課題	30%	課題や各種書類の提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40%	学内外の各種行事や活動への参加状況						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	介護施設の見学、交流								

科目名	生活日本語 I B						学期	後 期	
担当教員	折田 真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	介護職への理解を深め、進学への意識を高めて、将来的な日本での生活設計をする。								
授業内容	介護の業界、職業について学ぶ。また受験、進学のための準備を行う。								
学習目標	介護業界、職業の実際を理解する。専門学校、短期大学の出願書類を記入し、面接試験でしっかりと受け答えができ、志望校に合格する！								
使用テキスト	なし(適宜プリントなど)								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	地域貢献活動について学ぶ 学園祭での活動	【事前】	先輩の活動を見ておく						
		【事後】	プリント作成						
2	進学先都道府県について調べる	【事前】	進学先を地理的に確認してくる						
		【事後】	わかったことをノートにまとめる						
3	専門学校、短期大学の募集要項の見方	【事前】	要項、書類準備						
		【事後】	重要単語をノートに練習						
4	出願書類を書く	【事前】	書く内容を考えてくる						
		【事後】	書類を完成させる						
5	志望理由書を書く	【事前】	志望理由をを考えてくる						
		【事後】	理由書を完成させる						
6	施設交流会の準備	【事前】	活動内容を考えてくる						
		【事後】	交流会準備						
7	施設交流会	【事前】	交流会準備						
		【事後】	礼状を書く						
8	交流会のまとめ、意見交換会	【事前】	感想、意見をまとめてくる						
		【事後】	レポートをまとめる						
9	面接問答プリントを書く	【事前】	質問の意味を調べてくる						
		【事後】	授業でできなかった項目を書いてくる(鉛筆で)						
10	面接問答プリントを書く	【事前】	すべて鉛筆書きしてくる						
		【事後】	問答集プリントの清書						
11	面接練習	【事前】	問答プリントに書いたことを覚えてくる						
		【事後】	できなかったところを覚えてくる						
12	面接練習	【事前】	問答プリントに書いたことを覚えてくる						
		【事後】	できなかったところを覚えてくる						
13	面接練習	【事前】	問答プリントに書いたことを覚えてくる						
		【事後】	できなかったところを覚えてくる						
14	卒業成果発表準備(交流会報告?)	【事前】	発表の内容をグループごとに考える						
		【事後】	発表の内容をグループごとにまとめる						
15	卒業成果発表準備	【事前】	スラスラ言えるように練習してくる						
		【事後】	何も見ずに言えるよう練習してくる						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30%	課題や各種書類の提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率、授業中の態度、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40%	学内外の各種行事や活動への参加状況						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	介護施設の見学、交流 専門学校、短期大学受験								